

E-5 モンゴル語 2 人称所有接語の非所有用法 : 3 人称所有接語との比較から

外賀 葵 (内モンゴル大学)

takenoko2451@gmail.com

【要旨】モンゴル語の人称所有接語には、所有者の人称を標示しているとは言えない非所有用法がある。スタンスの観点による 1 人称所有接語と 2 人称所有接語との比較研究はあるものの、2 人称と 3 人称との比較研究は見られず、特に 2 人称と 3 人称とが交替可能な非所有用法については、未だ十分に検討されていない。予備調査の結果、交替可能であるのはトピック標示用法と接続詞的用法に概ね限られることが分かったが、本調査によって、トピック標示用法では必ずしもトピックではない場合にも用いられており、客観的に述べる場合には 3 人称が、主観的に述べる場合には 2 人称が用いられることが分かった。接続詞的用法では、日本語の「たら」との対照から 2 人称が直接体験した主観的表現として用いられることが示唆された。以上から、3 人称が客観的であるのに対して 2 人称は主観的であることを示すために用いられており、人称所有接語の分類には心理的距離だけでなく、主観・客観性という基準も導入するべきであると主張する。

キーワード：モンゴル語，人称所有，主観・客観性

1. はじめに

モンゴル語の人称所有接語には、(1) のような所有用法の他に、(2) ~ (4) のように所有者の人称を標示していると言いがたい非所有用法がある。

- (1) a. abu =mini... a'. minü abu... b. abu =mani ...
父親=1.SG. POSS 1.SG.GEN 父親 父親 =1.PL. POSS
「(私の) 父は、...」 「(他の誰でもなく) 私のお父さんは、...」 「(私たちの) 父は、...」
c. abu =čini ... d. abu =tani ...
父親=2.POSS 父親 =2.HON.POSS
「(君の) お父さんは、...」 「(あなたの) お父様は、...」
e. abu =ni... f. abu-yin/du/yi =mini ...
父親=3.POSS 父親-GEN/DAT/ACC =1.SG.POSS
「(誰かの/その人の) お父さんは、...」 「父の/父に/父を...」

(2a) では、büsegüi=minü は「私の女性」という意味ではなく、発話者が聴衆である女性に対して親しみを持って語りかけている。(2b) では 2 人称の独立人称代名詞の直後に、(2c) では 1 人称複数の人称代名詞句に 2 人称所有接語が後接している。

- (2) a. čimadu duralaysan saiḡan xöbegün-i čingya ḡataḡu üge-ber bitegei ḡomodaya,
2.SG.DAT 好く-VN.PFV 素晴らしい 男の子-ACC 厳しい 固い 言葉-INS PROH 傷つける
büsegüi =mini [...] 女性 =1.SG.POSS [...]
「あなたのことが好きな素晴らしい男のことをひどい言葉で傷つけないで、女性の皆さん、[...]」
[格根塔娜 2013: 18 (16) 発表者により一部省略]
- b. xöyi! ebügen e. či =čini xen-tei xeregül xi-čixe-be =de?
おい おじいさん INTJ 2.SG=2.POSS 誰-COM 喧嘩 する-COMP-PST =FP
「おい、おじいちゃん! あなたったら、誰と喧嘩しているのよ!」 [娜仁托娅 2011: 170, (6) グロス改]

c. manu χayan =čini eljigen čixi-tei.
 1.PL.EXC.GEN 王 =2.POSS ロバ 耳-PROP

「王様の耳はロバの耳 (lit. われらが王はロバの耳持ち)」 [鉄木尔布和 (主编) (2013:127)]

(3) のように、2 人称所有接語と 3 人称所有接語の言い換えが可能 (1 人称は不可) な場合もある。

(3) ene {=n'/čín'/*min'} činij, ter {=n'/čín'/*min'} Bat-yn nom baj-na.

これ =3 /2 /*1.SG.POSS 2.SG.GEN それ =3 /2 /*1.SG.POSS バト.PSN-GEN 本 ある-NPST

「これは君の、それはバトの本です。」 [橋本 2006: 408, (18a) 改]

(4) のように、所有接語は動詞に後接することもある (動詞は形動詞形をとることが多い)。(4a) は前部要素が主語であると解釈できるが、(4b) はそうではない。

(4) a. ulayan nilxa-yin uxila-χu =čini yamar =ügei.

赤い 嬰兒-GEN 泣く-VN.NPST =2.POSS どう =NEG

「赤ちゃんの泣き声は耐えられない (lit. 赤ちゃんの泣くのはどうしようもない)」

b. delgegür-i toyori-γad üje-gsen =čini yayu =ču ügei

店-ACC 回る-CVB.PFV 見る-VN.PFV =2.POSS 何 =も ない

「お店の中を見て回ったけど、何もなかった。」

表 1. 水野 (1991) による人称所有接語の機能・用法の分類

主機能「関与」	名詞に対するもの	旧情報マーカー、冠詞的、関心の所在
	節に対するもの	主語を表わす (省略された主語を表わす、主文と従属節の主語が違うことを表わす)
副次的機能	分離	
	人間関係の調整	
複合的な用法	主語省略+分離	
	呼びかけ (人間関係の調整+分離)	
その他のニュアンス	近未来	
	接続詞	逆接的、理由を表わす

人称所有接語の代表的な先行研究である水野 (1991) は、機能用法を表 1 のように分類し、「(用語上での矛盾を承知で言えば) 純粋に所属を表している所属小辞は少ない」(p.45) とも言及している。本発表では典型的で狭義の「所有」の場合を所有用法、そうではない用法を非所有用法と呼ぶが、「所有」の概念を拡張させて考えれば、所有用法と非所有用法は連続的に

捉えられる。個別的に用法を記述した研究としては、2 人称敬称と 2 人称非敬称との使い分けは「丁寧で柔らかい調子で接しようとする話し手の態度」の表示の有無であると述べる梅谷 (2003) や、3 人称所有接語の用法を分類した橋本 (2006) がある。人称の違いに主眼を置いた比較研究としては、1 人称所有接語と 2 人称所有接語とを比較し、1 人称所有接語は心理的な距離の近さを、2 人称所有接語は心理的な距離の遠さを表すと主張した格根塔娜 [ゲゲンタナ] (2013) や、1 人称単数と 2 人称敬称は主に発話者の感情的評価 (affective evaluation) を示す一方で、1 人称複数と 2 人称非敬称は主に対話者間の共通・客観的評価 (common/intersubjective evaluation) を示すと述べる Brosig et al. (2018)が見られるものの、3 人称所有接語と 2 人称所有接語とを比較して論じた研究は見られない。なお、水野 (1991) が「中立的」な心理的態度を示すとした 3 人称について、格根塔娜 (2013) や Brosig et al. (2018) によるスタンスの観点からの記述では、「中立的」であることに言及しつつも議論の対象外とされている。また、とりわけ 3 人称所有接語に関して、日本語の「は」との対照をしつつ、主題・旧情報・とりたて・対比の観点から人称接語の用法を記述した研究としてナラントヤ (2007)、娜仁托娅 [ナラントヤ] (2011)、賽希雅拉图 [サイシャラト] (2014)、那日蘇 [ナリス] (2021) があるが、(3) に見たような 3 人称と 2 人称とが交替可能な非所有用法の用例について、十分には論じられていない。したがって本発表では、2 人称所有接語の非所有用法について、3 人称所有接語との

比較から考察を加え、人称所有接語の体系は主観・客観性と心理的距離という2つの基準によって分類されるべきであると主張する。

2. 予備調査

まず、どのような用法で3人称所有接語と2人称所有接語との重なりが生じるかを知るために、3人称所有接語の用法機能について整理した橋本(2006)(表2参照)に掲載されている非所有用法の用例に関して、母語話者1名を対象に、i) 3人称所有接語を2人称所有接語に置換して文が成立するか、ii) 置換して文が成立する場合、表わされる意味に違いがあるかという2項目を設定し聞き取り調査を行った。その結果、3人称所有接語を2人称所有接語に置換して文が成立するとの回答を得たのは、トピック標示の場合と接続詞的用法の場合に概ね限られる(表3)ことが分かった。この結果を踏まえ、トピック標示の場合(3節)と接続詞的用法の場合(4節)のそれぞれについて調査を行った。

表2. 橋本(2006)の3人称所有接語の機能分類

	3人称性	所有性	指示性
3人称所有代名詞	+	+	+
照応的指示詞	-	-	+
部分詞	-	-	+
行為者標示	-	-	+
接続詞	-	-	±
モダリティ標示	-	-	±
名詞化標示	-	+	-
トピック標示	-	-	-
焦点化標示	-	-	-

表3. 3人称所有接語と2人称所有接語の置き換え調査の結果

意味機能	互換性	用例番号	意味機能	互換性	用例番号	意味機能	互換性	用例番号
照応的指示詞	×	4a	接続詞	×	10	名詞化	×	16b
照応的指示詞	×	4b	接続詞	○	11	トピック	○	17
照応的指示詞	×	4c	接続詞	○	12	トピック	○	18a
照応的指示詞	×	5	モダリティ (近接未来)	×	13a	トピック	○	18b
部分詞	×	6	モダリティ (近接未来)	×	13b	焦点化	×	19a
部分詞	×	7a	モダリティ (疎嘆)	×	14a	焦点化	×	19b
部分詞	×	7b	モダリティ (疎嘆)	×	14b	焦点化	×	20a
部分詞	×	8	名詞化	×	15a	焦点化	○	20b
行為者	×	9a	名詞化	×	15b			
行為者	×	9b	名詞化	×	16a			

3. トピック標示について

予備調査で置き換え可能であったトピック標示の用例は(5)～(7)である。いずれの例においても3人称と2人称とで意味の違いが認められる。(5)では、3人称を用いると、兄であること(ドルジのお姉さんでもお父さんでもおじさんでもなくお兄さん)に、2人称を用いると、誰の兄か(他の誰かのお兄さんではなくドルジの)という点が対比される。(6)と(7)では、3人称の場合は単に物事を叙述している表現であるが、2人称の場合は説明をして訴えかけるようなニュアンスを含意する。

(5) Dorž-ijn ax {=n'/čín'} Darxan xot-o-d barilgačín.

ドルジ.PSN-GEN 兄 =3.POSS/2.POSS ダルハン.PLN 市-E-DAT 建設労働者

「ドルジの兄はダルハン市の建設労働者です。」[橋本(2006: 408)の(17)改]

(6) ene {=n'/čín'} činij, ter {=n'/=čín'} Bat-yn nom baj-na.

これ =3.POSS/2.POSS 2.SG-GEN それ =3.POSS/=2.POSS バト.PSN-GEN 本 ある-NPST

「これは君の、それはバトの本です。」[橋本(2006: 408)の(18a)改]

(7) deer jav-san xugacaa-ny-xaa tajlan-g garga-na. ene {=n'/čín'}

上の 行く-VN.PFV 期間-GEN-REFL 報告-ACC 出版する-NPST これ =3.POSS/2.POSS

manaj ekspedic-ijn negd-sen tajlan bol-ž üld-deg.

1.PL.EXCL-GEN 調査旅行-GEN まとまる-VN.PFV 報告 なる-CVB.IPFV 残る-VN.HBT

「先に行なった期間の報告を出版します。これは、私たちの調査旅行のまとまった報告となって残るでしょう。」[橋本(2006: 408)の(18b)改]

この結果を踏まえ、ナラントヤ(2007)、娜仁托娅[ナラントヤ](2011)、賽希雅拉図[サイシャラト](2014)、那日蘇[ナリス](2021)の用例を参照しつつ、i) 3人称所有接語を2人称所有接語に置換して文が成立するか、ii) 置換して文が成立する場合、表わされる意味に違いがあるかという2項目を設定し聞き取り調査を行った。その結果、2人称所有接語も同様に主題・旧情報・とりたて・対比として解釈可能な例(8)だけでなく、対比(contrastive)ではあるが主題や旧情報を表示しているとは言い難い、疑問詞疑問文の疑問詞に後接する例(9)や、疑問詞疑問文に対する返答の疑問詞部分に対応する要素に後接する例(10)でも用いられることが分かった。(11)は置換え不可の例、(12)は置換え可能な部分と置換え不可の部分の両方を含む例である。コンサルタントによれば、3人称所有接語を用いると単に物事を叙述している表現であるのに対し、2人称所有接語を用いると説明をして相手に訴えかける表現になるという。置換えが不可である場合には、その命題が一般的・客観的な事実であることが観察されるが、自分の意見として述べる場合(10)や、直接体験して実感を持って述べる場合(12)には2人称との置換えが許容される。

- (8) a. ene{=ni/čini} nom. b. ene{=ni/čini} mongγol xömün.
 これ=3.POSS/2.POSS 本 これ=3.POSS/2.POSS モンゴル 人
 「これは(が)本です。」 「こちらは(が)モンゴル人です。」

- (9) yaγu =čini ebed-čü bai-na ge-ne?
 何 =2.POSS 痛む-CVB.IPFV ある-NPST 言う-NPST
 「(医者が患者に対して)何が痛いって？」

- (10) 〈魚、亀、鯨のうち、どれが哺乳類かという質問に対して〉

χalimu{=ni/čini} sün+tejigelten.
 鯨=3.POSS/2.POSS 哺乳類

「鯨が(は)哺乳類です。」[賽希雅拉図 [サイシャラト] 2014: 137 (1) 改]

- (11) emünexi egesig{=ni/*čini} todo, χoinaxi egesig{=ni/*=čini} balarχai bai-day
 前の 母音=3.POSS/*2.POSS 明瞭な 後ろの 母音=3.POSS/*2.POSS 不明瞭な ある-VN.HBT
 χoos egesig-i uruγuda-χu χoos egesig ge-ne.
 二重 母音-ACC 下降する-VN.NPST 二重 母音 言う-NPST

「前の母音は明瞭で、後ろの母音は曖昧な二重母音を下降二重母音という。」[那日蘇 2021: 278 (22) 改]

- (12) endexi-yin aγur+amisχul{=ni/čini} χabur{=ni/*čini} dulayan, jun{=ni/*čini} χalayun
 ここ-GEN 気候=3.POSS/2.POSS 春=3.POSS/*2.POSS 暖かい 夏=3.POSS/*2.POSS 暑い
 namur{=ni/*čini} serigün ebül{=ni/*čini} xüiten =side
 秋=3.POSS/*2.POSS 涼しい 冬=3.POSS/*2.POSS 寒い =FP

「この気候は春が暖かく、夏が暑く、秋が涼しく、冬が涼しいね。」[ナラントヤ 2007: 31 (18) 改]

4. 接続詞的用法について

水野(1991: 54)によれば、接続詞的用法については、2人称が圧倒的に多く使われているという。予備調

査で置き換え可能であった接続詞的用法の用例は (13)、(14) である。いずれの例においても 3 人称と 2 人称とで意味の違いが認められる。(13) では、3 人称の場合は単なる過去の状況の陳述であるが、2 人称の場合、「ドアを開けると、何とそこにはバートルがいた」といった意味になり、バートルがドアの前にいるということが想定外の出来事であるということを含意する。(14) では、3 人称の場合は単なる過去の状況の陳述であるが、2 人称の場合は話し手がその飾りつけの様子に意外で驚いていることを表わしている。

(13) manaj üüd-ijg neg xün togš-i-v.

1.PL.EXCL.GEN ドア-ACC 1つ 人 ノックする-E-PST

üüd-ee nee-sen {=n'čün'} nōxör Baatar baj-v.

ドア-REFL 開ける-VN.PFV =3.POSS/2.POSS 友人 バートル.PSN いる-PST

「私の（部屋の）ドアを誰かがノックしました。ドアを開けると、友人のバートルがいました。」

[橋本 (2006b: 405) の (11) 改]

(14) bas tüünij zuun salaa, mjangan möčir бүхн-ees an гөрөөс, араатан žigüürten,

また その 百の 脇枝 千の 枝 全部-ABL 動物 大型草食動物 猛禽 翼のある動物

öng-ijn čijden, oncoc, mašin, tumen züjl-ijg unžlaga bolgon züü-sen

色-GEN 電灯 ボート車 一万の 種類-ACC 下げ飾り ~毎に 身に付ける-VN.PFV

{=n'čün'} бүр ч sonin sajxan, xačin sürtej bol-žee.

=3.POSS/2.POSS どれも 面白い 美しい すばらしい 堂々とした なる-PST

「また、その（木の）何百という枝、何千という小枝すべてから、様々な動物や鳥、色とりどりの電球、ボートや自動車、何万種類ものものを下げ飾りごとに付けていて、どれも面白く美しくすばらしく堂々としていました。」[橋本 (2006b: 405) の (12) 改]

表 4. 「タラ」との対照調査の調査文

予備調査で得られた 2 例がいずれも形動詞完了形に 2 人称所有接語が接続する用例であること、山越 (2012: 206) が形動詞完了形に 2 人称所有接語が後接すると「～したら」「～したところ」といった意味になると言及していること、コンサルタントによれば当該形式は話し言葉で専ら用いられるということを踏まえ、体験談や語りにおいて現れやすい (加藤 2003 など) 点でも類似性が見られる日本語の「タラ」との対照を行った。蓮沼ほか (2001) に基づいて「タラ」の各用法を網羅的に扱える調査文を作成し (表 4)、日

A	【仮定的用法】 もし明日雨が降ったら、試合は中止になるだろう。	J	【発見・意外な結果の用法：前件後件ともに過去の事実】 ドアを開けたら父が倒れていた。
B	【仮定的用法】 受付の人に聞いたたら、親切に教えてくれるよ。	K	【発見・意外な結果の用法：前件が動作の持続、後件が過去の出来事】 一人で空を眺めていたら、向こうから友人たちが近づいてきた。
C	【反事実的用法：後件が非過去】 もっとお金があったら、この時計が買えるのに。	L	【発見・意外な結果の用法：「意外に」という語を含む】 彼は見た目は怖い、話してみたら、意外にいい人だった。
D	【反事実的用法：後件が過去】 もっと注意して運転していたら、こんなひどい事故は起こさなかった。	M	【きっかけの用法】 兄が殴ったら、弟は泣き出した。
E	【確定的用法】 授業が終わったら、食堂に行きます。	N	【きっかけの用法：話し手が直接体験した事実】 薬を飲んだら、頭痛が治りました。
F	【確定的用法】 食後 3 時間経ったら、この薬を飲んでください。	O	【提案の用法】 A: 明日のパーティーに行くか迷ってるんだ。/B: とりあえず行ってみたら?
G	【事実的用法】 これだけ日本語が上手に話せたら、試験は心配ないでしょう。	P	【疑問詞を用いる用法：A の前件が疑問詞を含む】 A: どうしたら安くなりますか? /B: 3 つ以上買ったら、安くなります。
H	【事実的用法】 そんなにたくさん食べたら、お腹が痛くなるよ。	Q	【疑問詞を用いる用法：後件が疑問詞を含む】 私が死んだら、どうする?
I	【一般的条件の用法】 このボタンを押したら、印刷できます。		

本語能力の高い (N1 合格者、日本語教師) モンゴル語母語話者 1 名に、日本語からモンゴル語に翻訳してもらった形式で聞き取りを行った。調査の結果、「タラ」と当該形式との対応が見られるのは「発見・意外

な結果の用法」と「きっかけの用法」に限られ（(15) 参照）、その他の場合（仮定的用法、反事実的用法、確定的用法、事実的用法、一般的条件の用法、提案の用法、疑問詞を用いる用法）には対応が見られなかった。(16) のような客観的な表現である場合に容認されない一方で、(15) の用法で対応関係が見られることから、当該形式が用いられる場合は自分の直接的な体験によっており、主観的・個別的な表現であることが示唆される。コンサルタントによれば、当該形式が用いられるのはいずれも後件に意外性が認められる場合であるという。例えば (17) で後件の主語に話し手自身である 1 人称を用いることはできない。

(15) a. 【発見・意外な結果の用法：前件後件ともに過去の事実】(J)

ドアを開けたら父が倒れていた。

egüde-yi nege-gsen=čini abu manara-γad bai-ǰai.

ドア-ACC 開ける-VN.PFV=2.POSS 父親 倒れる-CVB.PFV ある-PST

b. 【発見・意外な結果の用法：「意外に」という語を含む】(K)

彼は見た目は怖いが、話してみたら、意外にいい人だった。

tere xömün-i üje-gseger ayu-mar bol-baču,

3.SG 人-ACC 見る-CVB.DUR 怖がる-VN.DES なる-CVB.CONC

yari-lča-ǰu üje-gsen=čini sain xömün bai-la.

話す-RCP-CVB.IPFV 見る-VN.PFV=2.POSS 良い 人 ある-MDL

c. 【発見・意外な結果の用法：前件が動作の持続、後件が過去の出来事】(L)

一人で空を眺めていたら、向こうから友人たちが近づいてきた。

γaγčayar-ıyan tıgri-yi χara-ǰu bai-γsan=čini, ögede-eče naiǰa ire-le.

一人で-REFL 空-ACC 見る-CVB.IPFV ある-VN.PFV=2.POSS 向こう-ABL 友達 来る-MDL

d. 【きっかけの用法】(M)

兄が殴ったら、弟は泣き出した。

aχa =ni čoxi-γsan=čini degüü =ni uxıla-γsan.

兄 =3.POSS ぶつ-VN.PFV=2.POSS 弟 =3.POSS 泣く-VN.PFV

e. 【きっかけの用法：話し手が直接体験した事実】(N)

薬を飲んたら、頭痛が治りました。

em uuγu-γsan=čini toloyai ebed-xü-ben bai-čıχa-ǰai.

薬 飲む-VN.PFV=2.POSS 頭 痛む-VN.NPST-REFL 治まる-COMP-PST

(16) 【一般的条件の用法】(I) このボタンを押したら、印刷できます。

ene daruγul-i daru-γsayar (*daru-γsan=čini) xeble-ǰü γarıya-ǰu čida-na.

このボタン-ACC 押す-CVB.DUR (押す-VN.PFV=2.POSS)印刷する-CVB.IPFV 出す-CVB.IPFVできる-NPST

(17) {bi/ či/ tere} ire-gsen=čini {či/ tere/ *bi} ire-gsen=ügei. =siü=de

{1.SG/ 2.SG/ 3.SG} 来る-VN.PFV=2.POSS {2.SG/ 3.SG/ *1.SG} 来る-VN.PFV=NEG =FP=FP

「〈昨日のパーティーに）私（／あなた／彼）は来たのに、あなた（／彼／*私）は来なかったね。」

[水野 1991: 54, (41) 参照]

5. まとめ

以上から本発表では、3人称所有接語との比較の観点から見れば、3人称が客観的であるのに対して2人称は主観的であることを示すために用いられており、人称所有接語の分類には心理的距離だけでなく、主観・客観性という基準も導入するべきであると主張する。この主張に対しては、歴史的に1・2人称所有接語は人称代名詞に由来するが、3人称所有接語は指示代名詞に由来する（一ノ瀬 1988 ほか）ことも傍証となる。また例えば、三上（1955）が日本語の指示詞コソアの体系は、「コ対ソ（1人称対2人称）」と「コ対ア（1・2人称対3人称）」の対立が重なったものであると論じたように、1人称（話し手）と対立する2人称と、3人称（話し手・聞き手以外）と対立する2人称という2つの対比構造に由来するためであるという仮説を支持するものである。

表 5. 発表者による人称所有接語の分類

人称	1	2	3
主観・客観性	主観的		客観的
心理的距離	近い（内的）	遠い（外的）	

略号一覧 - : 接辞境界 / = : 接語境界 / + : 複合語境界 / 1 : 1人称 / 2 : 2人称 / 3 : 3人称 / ABL : 奪格 / ACC : 対格 / COM : 共同格 / COMP : 完遂 / CONC : 譲歩 / CVB : 副動詞 / DAT : 与位格 / DES : 願望 / DUR : 継続 / E : 挿入音 / EXCL : 除外 / FP : 終助詞 / GEN : 属格 / HBT : 習慣 / HON : 尊敬 / INS : 造格 / INTJ : 間投詞 / IPFV : 未完了 / MDL : モダリティ / NEG : 否定 / NPST : 非過去 / PFV : 完了 / PL : 複数 / PLN : 地名 / POSS : 所有 / PROH : 禁止 / PROP : ~持ちの / PSN : 人名 / PST : 過去 / REFL : 再帰所有 / SG : 単数 / VN : 形動詞

謝辞 辛抱強く調査に協力してくれたコンサルタントに、末尾ながら心より感謝申し上げます。

引用文献 Brosig, Benjamin & Gegentana & Foong, Ha Yap (2018) Evaluative uses of postnominal possessives in Central Mongolian. *Journal of Pragmatics* 135: 71-86. / 格根塔娜 (2013) 「蒙古語中从領属代詞演变而来的态度立场标记词」 硕士学位论文, 上海外国语大学. / 橋本邦彦 (2006) 「モンゴル語3人称所有後接語の複数の機能について」『実験音声学と一般音声学—城生佰太郎博士還暦記念論文集—』400-411. 東京: 東京堂出版. / 蓮沼昭子・有田節子・前田直子 (2001) 『条件表現』, 日本語文法セルフマスターシリーズ7. 東京: くろしお出版. / 一ノ瀬恵 (1988) 「モンゴル語の人称代名詞と人称関係小辞について」『日本モンゴル学会紀要』19: 15-29. / 加藤陽子 (2003) 「日本語母語話者の体験談の語りについて—談話に現れる事実的な「タラ」「ソシタラ」の機能と使用動機—」『世界の日本語教育』13: 57-74. / 三上章 (1955) 『現代語法新説』東京: 刀江書院. / 水野正規 (1991) 「モンゴル語の所属小辞」『日本モンゴル学会紀要』22: 42-56. / ナラントヤ (2007) 「モンゴル語の主題小辞“bol” “ni”—日本語の助詞「は」「が」との対照を通して—」『北海道大学大学院文学研究科研究論集』6: 23-39. / 娜仁托娅 (2011) 「モンゴル語の小辞 mini, cini, ni, cü, le bol に関する考察: 取り立ての観点から」『北方言語研究』1: 165-184. / 那日蘇 (2021) 「モンゴル語の第3人称所属語尾 ni の「対比」について: 日本語の「は」との対照を通して」『北方言語研究』11: 267-286. / 賽希雅拉図 (2014) 「日本語とモンゴル語の主題マーカーの研究」 博士論文, 大阪府立大学. / 鉄木尔布和 (主編) (2013) 『阿拉善左旗民間故事 (上)』, 蒙古族民間故事作品集. 呼和浩特: 内蒙古教育出版社. / 梅谷博之 (2003) 「モンゴル語の二人称所属小辞」『東京大学言語学論集』22: 209-232. / 山越康裕 (2012) 『詳しくわかるモンゴル語文法』東京: 白水社.